

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長
大西 規之

家庭学習に取り組みましょう！

3年生を対象にして、平成28年4月19日（火）に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果から

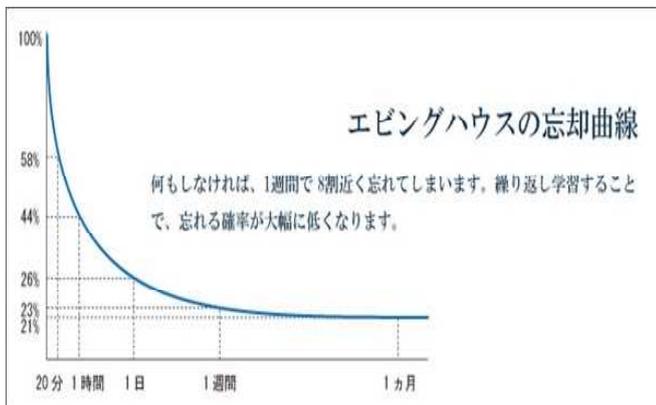
（生徒質問紙の内「学習」に関する項目から抜粋）

- ①学校の授業時間以外、平日（月～金曜日）の学習時間が1時間未満の生徒が3割を占めています。（塾、家庭教師を含む）
- ②休日の学習時間が1時間未満の生徒が2割強を占めています。（塾、家庭教師を含む）
- ③家で、学校の授業の予習をしている生徒は、全国平均と比較すると-7.1Pです。
- ④家で学校の授業の復習をしている生徒は、全国平均と比較して-10.7Pです。

（※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒を「している」としました）

家庭での学習や予習復習に課題が残りました。

復習は大切です！！



ドイツの心理学者エビングハウスが導き出した理論で、時間が経過するにつれて記憶はどのように変化していくかを研究しました。上の図がその忘却曲線になっており、横軸に時間、縦軸にはどのくらいの内容を覚えているかを表しています。これからわかることは、わずか一日足らずで勉強した事の7割以上が忘れられてしまうということです。

また、この研究では同時に、もう一つの結果を導き出しました。それは、1度覚えた内容を再び記憶しなおすとき、2度目は1回目よりも忘れにくくなるということです。そして、3度目は2回目よりも、

4度目は3回目よりもというように、覚えなおしをすればするほど、忘れにくくなる傾向があることがわかりました。では、どういう周期で勉強しなおせばいいのかかというと、50%程度忘れた頃に覚え直すのがポイントのようです。期間に換算すると、前に勉強した日から、1日後、3日後、7日後、1ヶ月後、3ヶ月後に再学習するのが効果的です（諸説ありますし個人差がありますので、目安程度にお考えください）。効果的な勉強法は、問題を解いたら、その横に解いた日付を記載しておくという、とてもシンプルな方法です。自分が過去に書いた日付が、「早くもう一回復習せよ」と訴えかけてきます。とても簡単ですが、効果的な勉強法ですのでぜひ実践してください。

家庭学習に向けての取り組み（1）

【週末課題の実施】

（例）2年生6月の学年通信より抜粋

◆6月の週末課題予定

2日／理科（テストやり直しプリント）

英語（プリント1枚）

社会（テスト直し）

総合（手紙の宛名下書き、礼状の下書き）

16日／社会（地理ワーク&トライP, 10, 11, 20, 21, 22をくりかえしノートのP, 5, 10, 11にやる）

国語（補強ドリル プリント1枚）

23日／数学（プリント1枚）

英語（プリント1枚）

30日／理科（テストやり直しプリント）

社会（歴史ワーク&トライP, 2～13くりかえしノートP, 1～6にやる）

上のように、月初めに発行している学年通信で毎週金曜日に出している課題の内容をご家庭にもお知らせしています。平日にも宿題は出していますが、土、日曜日を有効活用して家庭学習をしてほしいと願っています。お家でも週末課題をしているかどうかお声がけ願います。



